

研修・交流事業の実績

PREXは、関西経済人の高い志と地域発展への熱い思いと関西の産・官・学の総意と協力により、1990年4月大阪に設立された。事業目的は、アジア・太平洋地域を中心とする開発途上国の発展を促進するための核となる人材育成に協力することである。

もうひとつの目的は人材育成に協力する活動を通じて、関西の国際的人的交流を活性化し、国際的人ネットワークの構築に努め、関西をアジア・太平洋地域諸国に開かれた、特色ある世界都市に発展させることである。

PREXでは、15年間に延べ264コースの研修を実施し、105カ国・地域の8,100人を超える核となる人材が参加した。

研修事業を通じて、アジアを中心に、中央アジア・コーカサス地域、中南米、中東欧、アフリカ、ロシアなどの人達との人的交流、相互理解の促進に努めてきた。

研修を一過性のもので終わらせるのではなく、研修をきっかけに作られた人的ネットワークを生かして、継続して協力関係を維持、強化することに努めている。現在、訪日研修参加者を中心に、12の国・地域にPREX同窓会が設立されている。数年毎の現地でのフォローアップセミナーの開催、他の現地研修実施時を利用したフォローアップのための会合開催など、人的ネットワークの維持、強化に努めている。

テーマ・分野別、形態別件数累計、研修参加者累計（264コース、105カ国8122名 / 1990～2004年度）

コース	訪日研修		海外研修		同窓会フォローアップ		合計	
	件数	研修参加者数	件数	研修参加者数	件数	研修参加者数	件数	研修参加者数
経営管理	69	974	27	2,579	5	393	101	3,946
輸出促進・マーケティング	40	301	9	1,288	0	0	49	1,589
中小企業振興	42	429	8	827	0	0	50	1,256
市場経済化促進	21	217	3	325	0	0	24	542
その他産業振興	13	361	1	41	0	0	14	402
(小計)	185	2,282	48	5,060	5	393	238	7,735
その他	25	362	1	25	0	0	26	387
合計	210	2,644	49	5,085	5	393	264	8,122

研修参加者の地域別内訳

地域	人数	構成比
東アジア	4,096	50.4%
中国	2,207	27.2%
南西アジア	96	1.2%
中央アジア・コーカサス	530	6.5%
(アジア地域小計)	6,929	85.3%
中南米	122	1.5%
大洋州	29	0.4%
中東	24	0.3%
アフリカ	115	1.4%
中・東欧	310	3.8%
ロシア	588	7.2%
その他	5	0.1%
(その他地域小計)	1,193	14.7%
合計	8,122	100.0%

東アジア: 東南アジア諸国、モンゴル(除く中国)



遠隔研修への取組み

PREXは、1990年代後半より、他機関に先駆けてテレビ会議システムを活用した双方向での遠隔研修システムの導入、実用化に取り組んできた。

1997年、関西経済連合会を中心に設立された「東アジア教育・研修ネットワーク構想検討委員会」に参画・協力し、遠隔研修の開発に取り組んだことがきっかけである。

その結果、1997年度よりテレビ会議システムを活用して、大阪と海外の間を画像、音声を含めて双方向で結ぶ遠隔研修を開始し、研修ノウハウの確立に努めてきた。

これまでの開催実績は、フィリピン、タイ、インドネシア、マレーシアの4か国の間で11回を数え、研修参加者は、約765人となっている。

2003年度からは、財団法人 海外技術者研修協会 (AOTS)、独立行政法人 国際協力機構 (JICA) の既存の情報ネットワーク網と機材を有効活用し、従来より低コストで実施できる実用的遠隔研修に取り組んでいる。

遠隔研修の実績

1996年度	「第18回関経連アセアン経営研修」にて大阪～京都間の国内遠隔研修を試行的に実施(12月)
1997年度	「関経連アセアン海外研修」にて大阪～フィリピン(マニラ)間の国際遠隔研修を初めて実施(3月)
1998年度	「AOTS・関経連アセアン海外研修」にて大阪～タイ、インドネシア間の国際遠隔研修を実施(2月)

以降、2002年度までに「AOTS・関経連アセアン海外研修」において、国際遠隔研修を本格的に実施。

1999年度	「AOTS・関経連アセアン海外研修」大阪～タイ(バンコク)、マレーシア(クアラルンプール)
2000年度	「AOTS・関経連アセアン海外研修」大阪～インドネシア(ジャカルタ、メダン)
2001年度	「AOTS・関経連アセアン海外研修」大阪～フィリピン(セブ、ダバオ)
2002年度	「AOTS・関経連アセアン海外研修」大阪～タイ(バンコク、チェンマイ)

以降、2004年度までにAOTS、JICAなどの既存のネットワーク、機材を有効活用した実用的遠隔研修開始。

2003年度	「AOTS・関経連アセアン海外研修」でAOTSのネットワーク、機材を有効活用。 大阪～マレーシア(クアラルンプール、ペナン) 「インドネシア現地研修」のカリキュラムの一部にAOTSのネットワーク、機材を有効活用した遠隔研修方式を導入。大阪～インドネシア(ジャカルタ) 訪日研修「マレーシア経営幹部セミナー」のカリキュラムの一部にJICAのネットワーク、機材を有効活用した遠隔研修方式を導入。大阪～マレーシア(クアラルンプール)
2004年度	「AOTS・関経連アセアン海外研修」でAOTSのネットワーク、機材を有効活用。 大阪～インドネシア(ジャカルタ、メダン、スラバヤ) 訪日研修「マレーシア経営幹部セミナー」のカリキュラムの一部にJICAのネットワーク、機材を有効活用した遠隔研修方式を導入。大阪～マレーシア(クアラルンプール)



1998年度「AOTS・関経連アセアン海外研修」。大阪とタイ(バンコク)、インドネシア(ジャカルタ)をISDN及びインターネット回線で結び実施。遠隔研修に初めてODA資金を活用した。



1999年度「AOTS・関経連アセアン海外研修」。タイ(バンコク)、マレーシア(クアラルンプール)、大阪の3会場を衛星通信とISDN国際TV会議システムで結んで実施。



2004年度「AOTS・関経連アセアン海外研修」で、インドネシア・ジャカルタ会場から自社の経営課題と商品についてのプレゼンテーションを行う参加者。